



ふかむたも大地に

大崎町立大崎中学校校長

松尾好就

大崎中学校の学校だよりに「ふかむた」と名付けたコラムがある。この「ふたむた」は、大橋田んぼの中央を流れる持留川が、川床の高い天井川で、流域の田んぼは排水が悪く、五メートルほどの竿を継ぎ足してもずると入ってしまう沼同様の田んぼをそう呼んだ。

今は、難渋しているがすばらしい大地になることを願っている。

この地の先人は、自然に順応しながら、一方自然を生かし、すばらしい郷土をつくりだしている。

志布志湾沿いの松林も先人が植えて育てて来ている。塩害を防ぎ、肥沃な土地として造りだしている。

私たちが現在生活している場が、安全であったり、農地として生かされたりしているのは、先人が、よりよい生活ができるように、弛まぬ自然との共生によって成し得たものである。

あつても、すぐ弃きまえ、修正される。

大切なことは、その期に、躰という忍耐の結晶、言いかえると愛情を、他にまかせず放棄せず、取り組むことである。

「育てる」ということは、「ふかむた」の部分が多い。足を踏み入れ、足をとられ、片方がぬけたと思えば、片方が深く沈み込む。もがき苦しむ。そうして育てた稲穂の収穫の時期は、感動もひとしおである。おそらく「ふかむた」の頃は、この感動には気づかないだろう。

「知る」とか「分かる」というのは、体験を通して得たものが、ほんものである。昔とった杵柄」という言葉があるように、体で憶えたことはなかなか忘れない。また自分から問題を持ち、自分なりに解決したことも同様である。

今、土、日曜日は休みになり、生徒たちが地域社会等において様々な工夫をして、積極的に多様活動が展開されることが期待されている。

また一方、学力の問題等の定着が危惧されて「ふかむた」の様相を帯びている。しかし、今は「深牟田」であっても、教育を大局的にみるとすばらしい大地になることを夢みたいものである。

広報クイズ

第八十回

【当選者発表】

◆問題

今年の干支は何でしょう

(正解)

午

多数の正解者の中から、抽選の結果、次の方が当選されました。

井俣二七〇〇番地

本高 スズエ さん



★第八十一回★

◆問題

あすばる大崎は、三月二十四日で入浴者数何万人を突破したでしょう。

(応募方法)

ハガキに解答・住所・氏名・電話番号をはっきり書いて、役場内議事事務局あてに送って下さい。

(締切り)

平成十四年五月末日

まで消印有効

正解者多数の場合は、抽選により若干名の方に記念品を差し上げますので、多数のご応募をお待ちしております。

編

集

後

記

今、新聞紙上を賑わしていることの一つに、市町村合併の問題があります。本定例議会におきましても、この問題が取り上げられ、少子高齢化の進行・厳しい財政状況、今後一段と進む地方分権の現状を見てみると、決して避けて通れない問題となってきました。

三月議会の一般質問から質問方式が一問一答方式に変わり、今回九人の議員が、それぞれの持ち時間を展開いたしました。われわれ議員も日々更なる精進の必要を感じたところであります。

ここに議会だより第八十三号をお届けします。紙面や議会に対する皆様のご意見ご感想をお待ちしております。